

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日			記入者	内線 2626
部 名	保健福祉部	課 名	高齢者福祉課	課長名	市川正美
事務事業名	南大野老人いこいの家運営事業				
予算上の事務事業名	老人いこいの家維持管理費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			11220	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市立老人いこいの家条例					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	第2期高齢者保健福祉計画			高齢化が進む中で高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して生活できるようよう施策等の展開を計画するもの。	
計画年次	15	年度～	19		
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
高齢者の教養の向上やレクリエーション等の場の提供を行うことにより、高齢者の交流や生きがいの創造を行い、高齢者の福祉の増進を図る。				市内在住の60歳以上の者及び老人クラブ	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
いこいの家内の和室3室(約10畳2室・6畳1室)を、60歳以上の高齢者のサークルや老人クラブに無料で貸し出している。利用内容は、書道・華道・民謡・詩吟・踊り・三味線・合唱等の趣味のサークル活動や老人クラブの会議に使用されている。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他市においても同様に老人いこいの家を設置管理している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	628	695	673	727	727
一般財源	628	695	673	727	727
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計(a)	628	695	673	727	727
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	南大野老人いこいの家運営事業			対象名称(単位)	市内在住の60歳以上の高齢者(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	628	695	673	727	727
対象数	111,556	117,901	125,418	130,648	130,648
単位あたり経費(円)	6	6	5	6	6
前年度比		1.05	0.91	1.04	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	利用者数(人)		指標式と指標の説明 前年利用者数の確保		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	3,225.0	3,127.0	2,680.0		
目標	3,261.0	3,225.0	3,127.0	2,680.0	2,680.0
目標達成度	0.99	0.97	0.86		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	団体利用回数(回)		指標式と指標の説明 前年利用回数の確保		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	398.0	385.0	347.0		
目標	350.0	398.0	385.0	347.0	347.0
目標達成度	113.7	96.7	90.1		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
C	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 必要な補修を実施しながら、老人クラブ等への団体や高齢者対象の催し等で施設の周知を図っていく。			14 課題として認識されたこと 管理人居住時スペースを活用するための補修や施設のPR方法の検討		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
廃止	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	廃止			
			平成16年度事務事業評価において、建替等を契機に事業の廃止統合の方向性が示されている。		